

第24回 奄美を描く美術展

【本展】会期：令和7年10月11日（土）～11月9日（日）
※休館日 10月15日（水）、11月5日（水）
観覧時間：9:00～18:00（最終日は16:00まで）
会場：田中一村記念美術館 企画展示室 **〔観覧無料〕**

【巡回展】会期：令和7年11月28日（金）～11月30日（日）
※会期中、無休
観覧時間：9:00～17:00（最終日は15:00まで）
会場：宇検村生涯学習センター「元気の出る館」多目的ホール
〔観覧無料〕

大賞



《あと少し》

S15号 水彩

作田 浩二（奄美市名瀬）

〔評〕

奄美独自の舟こぎの様子が正面から捉えられ、まさに題名どおり「あと少しだ。がんばれ！」という緊張感と臨場感が鑑賞者に伝わってくる。舟漕ぎを見つめる作者の真剣な眼差しが、繊細さと大胆さを併せ持つ作品に仕上げた。

田中一村記念美術館賞



《晩秋》

F15号 水彩

丸山 良二郎 (鹿児島市)

[評]

長い画歴をもつ作家だということがわかる。画面の構成が丁寧で、絵が好きという気持ちが強く伝わってくる作品だ。描かれている蝶や植物が呼吸をしている、生きている感じが出ており、生に対する感謝が描かれている。

[審査総評]

非常に新鮮な気持ちで楽しく審査させてもらった。地元の人や奄美を訪れた旅人など作者それぞれが感じる奄美の湿度、風土性がどの作品にも表現されている。とにかく色彩が豊かだ。

人は1年1年、歳を重ねていく。自分の中にあるベースを大切にしつつ、常に新しい試みに取り組んでほしい。それによって新しい世界が拓けるはずだ。

(第24回奄美を描く美術展 審査員長 池田良二)

優秀賞



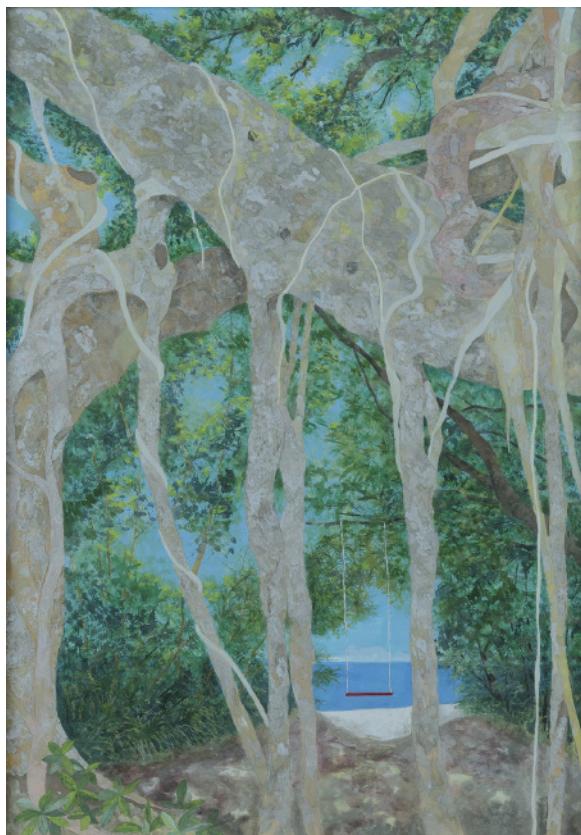
《奄美海中市場へようこそ。》

62×45cm 水彩

末次 宏二美 (東京都)

[評]

奄美の魚たちが色鮮やかに描かれている。ウロコの光っている様子も丁寧に表現され、今まさに描いた、という感じがする。画面に描きこまれた文字や数字は、ややもすると画面を壊しかねないが、この作品に関してはその意味を理解すると作者の意図と効果が見えてくる。



《ひょうかときあんとく (安徳にて)》

M15号 日本画

藤本 信司 (奈良県)

[評]

ガジュマルを抜け海につながる視線の先にある赤いブランコが、描かれていよい子どもなり人の気配を感じさせる。人の気配というものは表現において大切なものであるが、人そのものを描かずに表す作者の表現力が光る。

優秀賞



《成人式》

F15号 アクリル

栄 俊久 (奄美市名瀬)

[評]

派手さはないが、力強さのあるダイナミックな画面だ。大島紬や三味線、チヂンといった伝承されてきた文化、そして奄美の人々。「つなぐ」「紡ぐ」歴史と時間の大きな流れが表現されている。

佳 作



《花の旅・あまみ》

S15号 日本画

酒井 ゆみ子 (東京都)

[評]

日本画の技法で描かれているが、その枠にとらわれない現代的な表現がなされている。落ち着いた色調だが、南国らしさはしっかりと表現されている。



《時感 - AMAMI (2025)》

F15号 油彩

餅原 宣久 (鹿児島市)

[評]

画面全体に広がりが感じられ、島と空の大きさ、それと水平線が印象的だ。小さく描かれた紙飛行機や建物が、大きな役割を果たしている。

佳 作



《奄美の夜》

F15号 ペン・マーカー・水彩

城 瑠那子 (長崎県)

[評]

奄美の夜空に満天の星、それらを見上げるかのように描かれたたくさんの人の姿。大胆な筆使いが魅力的で、紙を用いた素晴らしい仕事をしている。



《初めての龍郷》

S8号 版画・アクリル・水彩

南 朱乃 (和歌山県)

[評]

版画の技法をはじめ、様々な筆跡、テクスチャーで奄美の空や雲、山、海を表現している。平面の仕事だが不思議な奥行きが感じられる。



《Memories of the leaves》

49×45cm 油彩・テンペラ

中田 久男 (奄美市名瀬)

[評]

小さな作品だが、古びた紙に刻み込まれた歴史、史実と植物のコラージュが、幾層にも重なる島の歴史を表現している。長年作者が追い求めているであろう哲学を感じる作品である。

入選

作者名	作品名	サイズ 素材等	作者名	作品名	サイズ 素材等
KUMA-YOSHI	★ 原始の咆哮	S15号 日本画	高山 法雄	奄美の守り人	F15号 水彩
植村 恭子	★ 噴々島	F15号 火山灰	森 正志	祭りで舟こぎ競争	F15号 油彩
佐藤由起子	★ ソテツ	46×61cm 水彩	広岡ひとみ	奄美きゅらしまの旅	F15号 アクリル
杉浦 絹代	★ アカショービンと シャリンバイ	F10号 工芸	元井 晴美	島伝統の4大楽器と芸能 (ティディム、ハト、ブラ、サムセム)	F15号 アクリル
池見 悠	★ アマミノウタ	S15号 日本画	今村 富枝	島バナナ日和	F15号 油彩
上田 謙二	★ Message from the island (sky)	F15号 ミクストメディア	成田 夏希	マングローブ林の彼ら	P15号 アクリル
上田 泰徳	★ あやまる岬－煌	F15号 日本画	小島 尚子	サガリバナの幻想	S15号 アクリル
佐藤二三男	★ ウブス黄昏残照	F15号 アクリル	Tako★MASARU	月の未知すがら君に 出会ったんだ	M15号 アクリル
大関 荷風	★ 雨に打たれる	F15号 油彩	重村 敏光	オカヤドカリの棲む島奄美	F15号 日本画
福本 恒久	★ マネン崎あたり	F15号 アクリル	源五郎 光	魚の日	63×47cm 水彩
仲村 和三	★ 早緑月のカノープス	F15号 油彩	瀧田 秀子	一夜限りの花	F10号 アクリル
房 克臣	★ 大島海峡の夕日	F10号 水彩	すずきあけみ	I LOVE AMAMI "海底の貝殻"	F15号 アクリル
中村 哲郎	★ 9月17日 小雨	F10号 日本画	岡山 良治	森にいざなわれる ひとつの命	F15号 油彩
津幹 みむ	★ 六月の夜	B3 ペン・墨	本間 泰伸	杜と太陽	F15号 アクリル
平井 真人	★ アダンの島	75×71.5cm 染色・縫い	松田 弥	COLORS OF AMAMI (芦徳)	F15号 アクリル
服部佐紀子	★ 奄美の自然を愛して	F15号 アクリル	松野 勉	月光・立神	P8号 アクリル・鉛筆
土橋まゆみ	とうとがなし	F15号 アクリル	窪田 秀幸	FLUXNO.1985	F10号 工芸
新島 修二	島ミカンと ドラゴンフルーツの里	F15号 油彩	北山みね子	ふるさとのバナナ	P10号 水彩
上野 圭子	熱帯雨林の恵み	F15号 油彩	サイトウカナエ	一村さんを訪ねて -2025夏の奄美-	F15号 アクリル
石原 尚大	雄氣堂々	F8号 水彩	平 芳子	北緯28°に御座候	F15号 油彩
吉橋明津美	水音	F12号 アクリル	川越 陽詩	いのちの源	F15号 油彩
中尾 克依	ヒカゲヘゴの森	61×48cm アクリル	山城 そら	3/4 purple	F15号 油彩
長野 雅彦	想いハルカ	P10号 アクリル	篠原 紗音	青の軌跡	F15号 油彩
山原 金静	唄者に成る	F15号 油彩	千賀 ちか	夏のひととき	F12号 水彩
野間まり	出会う。	F15号 油彩	玉城 邦子	のどかな風景	F15号 油彩

※ ★印は「賞候補作品」

※ 「入賞作品 10 点」及び「賞候補作品 16 点」は、巡回展に展示

巡回展会期：令和7年11月28日（金）～11月30日（日）

巡回展会場：宇検村生涯学習センター「元気の出る館」多目的ホール